

## 6 優秀研究業績全国水産試験場長会会長賞表彰式

### (1) 審査委員長経過報告・講評

全国水産試験場長会副会長 三宅 博哉

平成31年度全国水産試験場長会会長賞表彰候補に推薦された3業績について、審査委員会を開催して審査した結果を報告します。

海面部会2ブロックと内水面部会1ブロックから推薦のあった以下の3業績について、その内容と推薦理由について、推薦ブロック幹事から説明を受けて審査した結果、いずれも平成31年度全国水産試験場長会会長賞表彰を受けるにふさわしい業績と判断されました。

海面部会西部日本海ブロックから推薦された山口県水産研究センター・外海研究部海洋資源グループの渡邊俊輝専門研究員による「山口県日本海沿岸域における漁場形成予測技術の開発および漁海況情報配信システムの構築」については、本研究では操業と水温の情報を用いてマアジ、ケンサキイカの漁場予測モデルを作成し、漁場予測情報、海況日報および漁況旬報を発信する専用サイトを構築しました。予測と実際の操業位置は概ね一致しており、また、サイトを利用した漁業者の評価も良好であったことから、本システムは効率的操業の支援に有効であると考えられました。こうした沿岸重要種の漁場形成予測技術の開発は、全国に先駆けた取り組みであり、これらの成果は地域の水産業の発展に大きく貢献すると認められます。

海面部会瀬戸内海ブロックから推薦された高知県水産試験場猪原亮主任研究員による「室戸岬東岸における急潮予測技術の開発」については、室戸岬沖の黒潮小蛇行東進に起因する室戸岬東岸の急潮発生の関係を明らかにし、高確率で予測し広報することで、当該地区の主要漁業である定置網の被害を軽減しました。また、対策をしなかった場合に想定される水揚げの減少を併せると、その被害軽減効果はさらに大きく見積もられました。これらの成果は地域の水産業の発展に大きく貢献するものと認められます。

内水面部会東北・北海道ブロック北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場・内水面資源部サケ原虫病対策チーム水野伸也研究主幹による「放流用サケ稚魚の原虫病総合的予防技術の開発」については、本研究は、サケ放流用種苗の原虫病対策として、感染経路遮断と稚魚の抗病性向上の両面から新規予防技術を開発し、普及に努めました。特に後者の抗病性向上技術は、特許化から製品化につながり、製品の採用は北海道内に限らず、一部本州にも及びました。これらの研究成果の活用により、健康なサケ種苗が生産、放流され、沿岸サケ資源の安定化に繋がると期待されることから、水産業の発展に大きく貢献すると認められます。

### (2) 会長賞表彰式

川島会長より受賞者に賞状の授与、水産技術者協会川口会長より副賞の贈呈が行われた。